

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	都市計画推進事業			
予算科目	8 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 都市計画			
所管課情報	担当課: 都市整備課		電話番号(内線): 0	
記入者情報	所属長: 日山 一正		担当責任者: 森下 久史	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	国、県、市の各種行政期間及び都市計画区域住民			
根拠法令等	都市計画法、国土交通省令			
事業の目的	農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市正確及び機能的な活動を確保すべき整備、開発その他都市計画の適切な計画を策定する。			
事業の内容	都市計画基礎調査等の調査や都市計画変更に伴う資料の作成を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	3,600	0	3,507
	人件費	0	4,067	813	4,067
	合計	0	7,667	813	7,574
人件費 内訳	人工数	0.00	0.50	0.10	0.50
	人件費単価	0	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	4,067	813	4,067
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	1,800	0	1,548
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	5,867	813	6,026

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
都市計画審議会	回	2	1	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	都市計画審議会開催回数			
指標設定の考え方	都市計画変更案件に対し資料作成等を行い、都市計画審議会を開催することから、審議会開催回数を成果として考える。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	2	1	2	0
実績	2	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市街化区域における用途見直しは平成25・26年度で見直しを行うこととしており、計画どおり作業されている。都市計画道路の変更手続きは国・県との調整に手間どり作業が遅れているが、平成26年度中に閉鎖変更できるよう協議を進めていく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市街化区域における用途区域の見直しについては、平成25・26年度の2ヵ年で行うこととしており、計画どおり作業が進んでいる。また、都市計画道路の変更手続きについては、国・県との調整に手間どり作業が遅れているが、平成26年度中に計画変更できるよう協議を進めていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題